

第二副会長 シッド L. スクラッグス三世

シッド・スクラッグス氏（米国ノースカロライナ州出身）が、2008年6月23日から27日にかけてタイのバンコクで行われた第91回国際大会で、ライオンズクラブ国際協会の第二副会長に選出された。

スクラッグス第二副会長は民間航空会社の元パイロット。

ヴァース・ライオンズクラブの会員である同氏は、クラブ会長、複合地区エクステンション委員長、地区ガバナーなど、ライオンズクラブ国際協会内で数々の役職を歴任。加えて、ノースカロライナ州ライオンズクラブ財団理事、複合地区“白い杖”委員長をも務めた。米国/カナダ・リーダーシップ・フォーラム、ヨーロッパ・リーダーシップ・フォーラムおよび国際大会ではプレゼンターとして、また、ライオンズクラブ国際協会指導力育成研究会、米国南東部指導力育成スクールおよび地区ガバナーエレクト・セミナーでは講師としても従事。視覚障害者のための盲導犬に係わる活動にも精力的に取り組んでおり、世界最大の介助犬育成組織、米国自立介助犬協会よりアブドゥル・リーダーシップ・アワードを受賞している。

ライオンズクラブ国際協会への貢献が認められ、これまでにベスト・ライオン賞4回、100%クラブ会長賞1回、エクステンション賞8回、ガイディング・ライオン賞1回、ガバナー優秀賞1回、キー・オブ・ネーション1回、国際会長感謝状4回、国際会長リーダーシップ賞1回、国際会長賞8回、および同協会がその会員に授与する最高の荣誉、親善大使賞を受賞。累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンであるだけでなく、スクラッグス第二副会長は、ガバナー・モアヘッド盲学校理事長、社団法人ラーレー・ライオンズ盲人医療センター理事、ノースカロライナ州ライオンズ財団終身会員、アメリカン航空グレー・イーグル協会会員、アメリカ合衆国海軍兵学校同窓会生としても活動。ノースカロライナ州からは最高位の勲章、ロングリーフパイン最高位勲章が叙勲され、ワールド・ユニバーシティーからは人文科学名誉博士号が授与されている。

スクラッグス第二副会長、そしてライオンかつ累進メルビン・ジョーンズ・フェローであるジュディー夫人とのあいだには4人の子供、15人の孫がいる。

#

R-03/08